



## 今月のシーニック・バイウェイ



**写真タイトル「たかひらに舞う(佐伯市蒲江・高平山)**

**東九州伊勢えび海道2018 フォトコンテスト入賞作品です。フジバカマに戯れるアサギマダラは蒲江の新たな風物詩です。 撮影者: 松田 裕次 様**

## 地域資源（宝）の紹介コーナー



### 地域で活動する人



#### ◆伊東 忠盛(イトウ タモリ)さん

#### ～海賊ツーリズムメンバー～

親子二人で日の出前に自宅民宿前の波止場から車で10分程度の定置網の漁場へ向かい、それから船上での漁が始まります。その日に獲れた新鮮な魚を民宿で捌き、蒲江ならではの美味しい食事を提供し、希望者には魚捌きの手ほどきもします。

ただ今、蒲江海賊ツーリズムのメンバーとして親子の息の合った定置網漁の様子を別の遊漁船で見学するツアーを企画中です。

「将来は、魚の乱獲防止のため定置網に入った小さい魚はリリースし水産資源として活かし、海の自然サイクルに合った漁業を目指し地域の持続的な発展に繋げていきたいです。」  
と、元気に語っていただきました。



海賊ツーリズムとは：  
蒲江の海に生きる渡世人たちが、訪れた人たちに漁師たちの海の暮らしを味わってもらい蒲江のこと、魚のこと、海のこと、自然のことを学び遅く生きてもらえるように立ち上げた体験観光メニュー。



### 歴史・文化



ぎょうろ

#### ◆蒲江の漁撈用具(その3) 海の資料館(佐伯市蒲江) 蒲江ICから車で10分

船及び関係用具は漁船・船具・照明具・修理用具、漁具製作修理用具は網具製作修理用具・付属品製作修理用具があり、その他、仕事着・携行用具・信仰儀礼用具(儀礼・行事用具・講・祭礼用具)などがあります。

蒲江の漁業は、太平洋から分流する黒潮によってイワシ・カツオ・ブリ・マグロなどが回遊し、多様な漁法・漁具を用いる漁業が発達しました。漁業の中心になったのは、網漁、特に地引き網です。リアス式の海岸であるため地引き網をはじめ棒受網・巾着網などの大型の網を使った漁法が発達しました。特に大衆魚であるイワシの漁獲が主体であり、地引き網・棒受網・巾着網と着実に漁獲高が向上してきました。

蒲江浦には江戸時代末に棒受網が入り、周辺の浦々に普及しました。一本釣漁やタイ等の延縄漁(はえなわりょう)も行われています。また海草採取漁や貝採りも盛んでした。潜水漁は、戦後になって本格的に従事するようになりました。

(旧蒲江町教育委員会「蒲江町の文化財」より)



一本釣漁



延縄漁





# 食



## ◆真鯛(マダイ)(佐伯市蒲江)



新鮮なマダイ

皆さんご存じの真鯛。日本列島全域に生息しており、主に、一本釣りや定置網などで獲られています。佐伯市では養殖も盛んに行われていて、年間を通して出回っています。

また釣りのターゲットとしても人気があり、その強烈な引きは多くの釣り人を魅了しています。

旬は秋から春と言われ、特に産卵期直前の桜の季節のマダイは”桜鯛”と言って珍重されています。

昔から高級魚の代名詞とされ、刺身、煮つけ、塩焼き、寿司など色んな料理に合います。この時期の鯛を今一度ご賞味ください！

## ◆「宮崎一口あわび”浦の恵”」(宮崎県水産物ブランド認証品)



宮崎一口あわび”浦の恵”

殻長が50mm以上100mm未満の鮑で、人口飼料や生産周辺海域に自生する天然海藻を一切使用せず、乾製品及び自家生産した良質な褐藻類(かつそうるい)のみを餌として与え、延岡市南浦周辺海域で養殖されたものが、「宮崎県一口あわび浦の恵」として認証されています。生で食べても、火を通して肉質が適度にやわらかく甘みがあるのが特徴です。

※殻長100mm以下の天然鮑は獲ることが禁止されています。



## お知らせ

### ◆宮野浦御大師さん二百年祭（宮崎県延岡市北浦町宮野浦）



宮野浦八十八ヶ所は、四国霊場八十八ヶ所を模して1819年(文政2年)に建立されたと伝えられています。以来旧暦の3月21日に大師祭が行われ、今年で200周年を迎えます。これを記念して、平成31年4月28日(日)に「宮野浦御大師さん二百年祭」が開催されます。

旧宮野浦分校体育館で記念式典が行われた後、イベントや餅まきなどが行われる予定です。

## お知らせ

### ◆第4回東九州大漁祭 in 蒲江 開催!!

平成31年4月28日(日)、大分県漁協蒲江支店荷捌き所(道の駅かまへの道路向かい)で開催されます。

佐伯市を中心に、津久見市、宮崎県延岡市、門川町他東九州の海の幸が集結し、日向のひよっとこ踊りや演歌歌手五十川ゆきさんの歌謡ショーなどのステージイベントで会場を盛り上げます。

その他会場内では魚・貝のつかみ取りやマグロの解体ショー、遊覧船での海上クルージングなどなど、楽しいイベント盛りだくさんで皆様をお待ちしております。



問い合わせ先: 東九州大漁祭実行委員会事務局(佐伯市水産課内)  
TEL0972-22-3226 (平日8:30~17:00)

シーニック・バイウェイとは:

アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)という意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる142のルートがあり、九州には15のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。



### ◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)のホームページ ◆

URL: <http://nippou-kaigan.kirara.st/>

旬の情報を毎月発信中 皆様からの情報提供をお待ちしております。

### 問い合わせ先



## 日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-8585 大分県佐伯市中村南町1番1号(佐伯市役所内)  
tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

(行政側問い合わせ先)

佐伯河川国道事務所 道路管理課  
tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2747

延岡河川国道事務所 調査第二課  
tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489